

NEWSLETTER

THE JAPANESE SOCIETY FOR
PARAPSYCHOLOGY

FEBRUARY 1978

No. 2

The 20th Parapsychological Association Convention

第20回 P.A. Convention は1977年8月10-13日 American University, Washington, D.C. で開かれた。18の full paper が発表され、5つの round table discussion が行われた。

Psychokinesis : 16の実験的論文の内8がPKを扱ったものである。研究の焦点がPKに向けられたことは昨年からの傾向である。その2の実験が random event generator (REG) を用いたものである。中でも注目されたのは H. Schmidt による PK の retroactive effect の発見である。しかし、他の研究者の実験ではこの効果は証明されなかった。

Free-Response ESP : ESP研究のほとんどは free-response method を用いたものである。最も有名な結果は、"psi-conductive" な状態に導く手続を用いた実験で得られた。Feedback "Training" : psi ability は trial-by-trial feedback of performance による学習可能かという問題は、本年度 convention の一つの課題であった。C. Tart は理論的論文を発表した。Brand and Brand はこの理論に矛盾する実験的結果を得、Morris 等は free-response ESP feedback experiment で decline を観察した。

ESP and Cognition : psi information の認知プロセスに至る過程を問題にした研究が3点あり、R. Rao の実験は独創的なものであった。Poltergeist Cases : J.G. Pratt が新しい例を報告し、Roll は17の記述を発表された116例について概観した。Round Table Discussions : 1) 過去20年超心理学はどれほど進歩したか? 2) 研究法について、超心理学における replication の問題が論じられた。3) psi-conductive state of consciousness が存在するか? 4) survival question について、調査結果が報告された。5) OBE について。

Presidential Address : C. Tart は彼の ESP training の研究にみられた precognitive psi-missing について論じた。(by J. Palmer)

(Parapsychology Review Vol. 8 No. 6, 27)

落下傘降下とESPとの関係 大谷宗司

前回の同様な実験(防大紀要1970)に於て行えなかった落下傘降下直後におけるESP測定を試みた。被験者は延べ49人、2日に亘って測定を行った。全体のESP得点は、降下前5.15、降下後4.78であった。降下初体験者についてCASにより各傾向の大(HA)小(LA)の2グループに分けて得点の比較を行った結果、LAグループにおいて、降下前の positive deviation と降下後の negative deviation との間は suggestive な差異が観察された(下表)。

	前			後			* CRd: 2.18 P: 0.029
	N	Run	Dev.	N	Run	Dev.	
HA	10	40	0	10	40	-3	
LA	9	36	+25	9	36	-12	

会務報告

第121回月例研究会

1978年2月10日 1930~2100 学士会館本館に於て開催。出席者10名。後藤ひろ子氏によるESPテストと心理テストとの実験的研究結果の報告(次号に要旨掲載予定)、杉谷氏による大会準備の経過報告があり、先に行われた大会準備委員会との連絡につき、至急返事を求められた旨の要望があった。

お知らせ

第122回月例研究会を下記要録で行います。

1978年3月10日(金) 1930~2100 (1800より会食)
於 学士会館本館 4代目錦町3-28, 03-292-5931
文献紹介 Parapsychological Models and Theories 也
Handbook of Parapsychology 1977
全訳元基

NEWSLETTER 1978年2月10日発行 ©
編集・発行 日本超心理学会